

さらなる品質向上へ

大通 第8回安全大会開く

大通（松本望社長、大阪府柏原市）は17日、藤井寺市立市民総合会館で第8回安全大会を開催。松本社長はあいさつで、「今回は初めて、当社従業員やグループ会社、協力会社

に加えて、得意先や取引先の皆様を安全大会にお呼びした。それは、我々の日々の取り組み方、安全への意識レベルを見ていただき、貴重な意見を頂戴するな

どして、さらなる事業の発展、品質の向上につなげていきたいという思いから。事故はいつでも起こりうるが、起こさないために、ど

のように取り組むべきが常に考えている。ここから安全・安心を安定して供給していきたいよう、今大会を機にますます頑張っていきたい」と語った。

柏原警察署の交通課や八尾自動車教習所による安全講義や、アイディール保険事務所による防災をテーマにした講演に続き、各事業所による安全衛生活動の取り組み発表を実施。本社と八尾、赤穂、千葉の各営業所の担当者、従業員、産業医に

来て頂きインフルエンザの予防接種を実施」

「フォークリフトでエレベーターに乗り込む際、ツメがセンサーに反応しない場合があるので、前進ではなくバック走行で乗り込

検、出発前安全指導、帰社時の洗車チェックシートの配布などを徹底する」（八尾）、

「フォークリフトのツメによる荷物破損を防ぐため、保管場所に白線を引き、場所を明確化する」（赤穂）、

「地震対策としてさらなる安全対策を講じ、構内巡視を徹底する」（千

葉）など1年間の活動報告を行った。

安全ドライバー表彰では、1年間無事故無違反で業務に取り組んだ31人が受賞。永年勤続表彰（10年7人、20年1人）も行われた。

閉会のあいさつで松本社長は「4年前の7月17日に当社は重大事故を起こし、3年前か

ら同日を安全記念日と制定した。事故を風化させず、社員全員に周知させて、品質について強く訴えていく会社である『荷主貢献と業界貢献』をしていくよう、これからも取り組んでいきたい」と力強く語った。

（中野秀一）



松本社長あいさつする

「フォークリフトでエレベーターに乗り込む際、ツメがセンサーに反応しない場合があるので、前進ではなくバック走行で乗り込